

令和2年度 旭川市農業センター試験課題等一覧
 <農業センター圃場試験>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	調査・収穫		
1	夏秋トマトの養液栽培試験	新規	4月下旬	6月中旬	8月上旬～	生産者部会では水稲育苗ハウスの有効利用として、夏秋トマトの養液栽培を検討している。従来の養液システムに比べ安価に導入可能な(株)サンホープ製の養液システム(肥家効蔵)を使用した栽培方法を検討し、その有効性について検証する。	旭川青果物生産出荷協議会トマト部会
2	ハウレンソウ品種比較試験	新規	①7/13頃 ②8/3頃	-	①8月上旬 ②9月上旬	生産者部会から要望のあった作期について、地域に適応した品種の検討資料を得る。R2は萎凋病抵抗性を有する品種の模索を行う。	旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会
3	パセリのうどんこ病対策検討試験	R1～	3月上旬	5月上旬	6月中旬～	・うどんこ病に対し強い耐病性を有するとされる「エンリッチ」(ツルタのタネ)と基幹品種「グラウンド」との比較 ・同病に効果が期待される予防剤「クリーンカップ」及び「アフエットフロアブル」の効果確認試験 <供試品種:グラント, エリッチ><試験薬剤:2剤>	旭川青果物生産出荷協議会パセリ部会
4	摘み取り春菊の栽培法試験	新規	①5月中旬 ②7月上旬	①6月上旬 ②7月下旬	①6月下旬～ ②8月中旬～	高温期の品質低下や葉枯れ病対策として効果が期待できる株間の疎植化について収量や品質の検討を行う。 <供試品種:さとあきら>	旭川青果物生産出荷協議会摘取春菊部会
5	リーフレタス及びサニーレタスにおける根腐病抵抗性品種の特性調査	新規	①6月中旬 ②8月上旬	①7月上旬 ②8月下旬	①8月上旬 ②9月下旬	リーフレタス・サニーレタスの現行の基幹品種の栽培で、根腐病が問題となっていることから、当該病害の抵抗性・耐病性を有する品種の特性を調査し、今後の品種選定の資料を得る。 <各品目4品種程度>	旭川青果物生産出荷協議会サニーレタス部会
6	春どりレタス栽培法試験	新規	1月10日	3月6日	4月下旬	地域の春どり作型で課題となっているチップバーンの発生について、栽培法や各種資材活用による軽減効果を検討する。	旭川青果物生産出荷協議会レタス部会
7	短節間カボチャ「おいとけ栗たん」の栽植方法検討試験	R1～	6月上旬	6月中旬	9月	昨年度の結果を踏まえ、栽植方法による収量性の検討や生分解性マルチの導入適性を検討する。	J A あさひかわ
8	さつまいも品種比較試験	新規	-	5月下旬	9月下旬	輪作作物として計画されている青果用さつまいもについて、地域に適応した品種の検討資料を得る。 <供試品種:シルクスweet他4品種程度>	J A 東旭川
9	さつまいものセル苗移植適応調査	新規	-	5月下旬	9月下旬	機械移植が可能なセル苗による移植栽培について、品質や問題点等を調査し、市内導入の可能性を検討する。 <供試品種:シルクスweet>	J A 東旭川
10	冬季のコマツナにおける品種特性調査	新規	9月下旬	-	11月中旬～	市内での無加温冬季栽培が可能な品目の一つであるコマツナについて、より適応性の高い品種等を検討する。	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者
11	雪中貯蔵におけるブロッコリーの品種特性調査	R1～	①7月中旬 ②8月上旬	①8月上旬 ②8月下旬	11月中旬以降、積雪前に収穫	R1展示栽培において雪中貯蔵が可能であることが確認されたが、定植時期等の課題が見えてきたことから、本試験では、品種及び栽培時期を検討するとともに、当地における雪中貯蔵の適性を検討する。	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者
12	土壌施用剤使用後の後作物残留試験	R1～	①5月下旬 ②9月上旬	-	①6月下旬 ②10月上旬	市内の施設野菜は、同一圃場で複数品目を輪作する事が多いことから、前作物で用いた土壌施用剤が後作物にどの程度、農薬残留するかを調査し、安全・安心な輪作体系確立のための資料を得る。	旭川青果物生産出荷協議会

<展示栽培>

No.	課題名	年次	作型			試験の概要	関係先等
			播種	定植	収穫		
展示1	チンゲンサイの直播栽培展示	新規	①6月中旬 ②9月上旬	—	①7月下旬 ②10月下旬	市内では移植栽培が慣行であるが、移植栽培に比べ省力化が期待できる直播栽培について、当地での実施可能性を確認する。	旭川青果物生産出荷協議会チンゲン菜部会
展示2	寒締めホウレンソウ栽培展示	H19～	9月中旬頃	9月下旬頃	11月中旬～ 1月下旬	現行の基幹品種「冬霧7」で特に大きな問題は生じていないが、他にも寒締め栽培に向くとされる市販品種があることから、これらを試作し品種特性を調査する。 <供試品種：冬霧7ほか 全6品種程度>	寒締めホウレンソウ生産者
展示3	雪中貯蔵可能品目における貯蔵法の展示	新規	ニンジン：6月下旬 ダイコン：8月中旬 ネギ：4月下旬	— — ネギ：6月下旬	積雪前 積雪後	近年、ハウス内での冬季野菜栽培のほか、ニンジン、ダイコン等を雪中貯蔵し、冬季に出荷する手法も生産者から問い合わせが多いことから、その方法を検討する。	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者
展示4	冬季野菜栽培展示	H29～	9月上旬頃	9月下旬頃	11月中旬～	空気膜2重フィルムの耐用年数確認及び見学用展示、新規品目の試作	冬季栽培に取り組む又は関心を示す生産者